

- 典型的な中山間地域の課題を抱える広島県三次市川西地区では、地域の団体が主体となり、地域住民と合意形成を図りながら、持続可能なスマートコミュニティの構築を目指している。地域の団体は、喫緊の課題である高齢者の移動手段確保のため、デマンド型交通サービス(支えあい交通)を運営しているが、経済的に持続可能なサービスとなっていない。
- 地域の団体は、地域のビジョンに共感した企業等の支援を受け、支えあい交通の売上増加を図る。

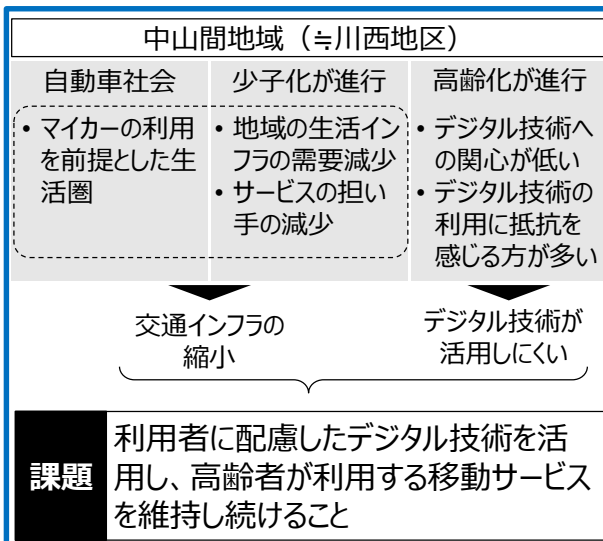
■ 対象区域の概要

- 名称 広島県三次市川西地区
- 面積 42.5平方Km
- 人口 970人

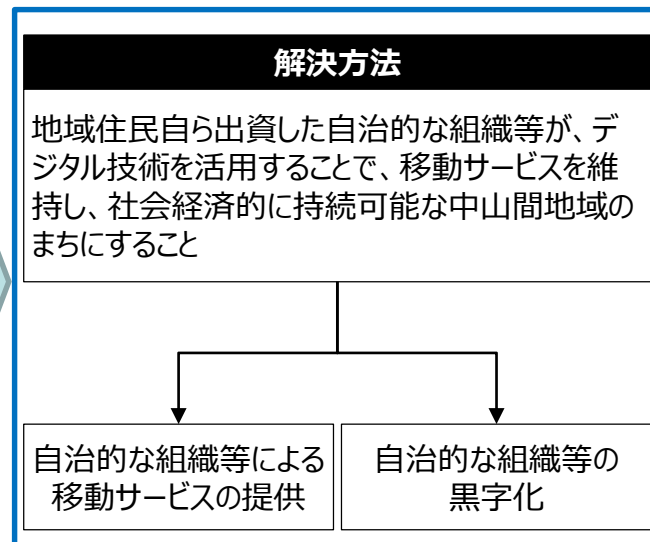
位置図



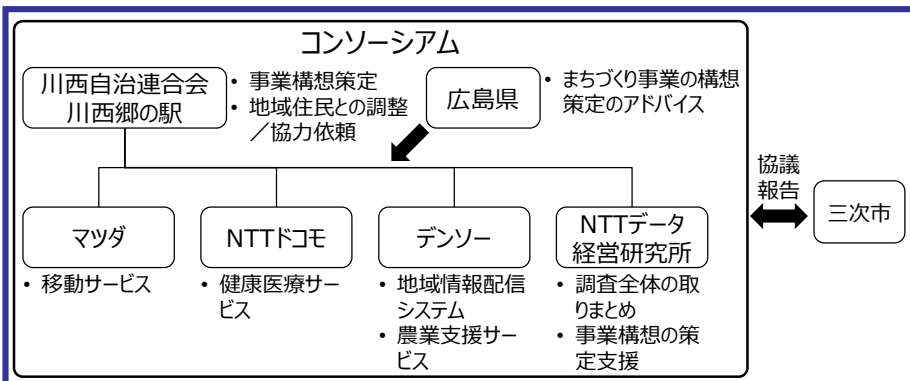
■ 都市の課題



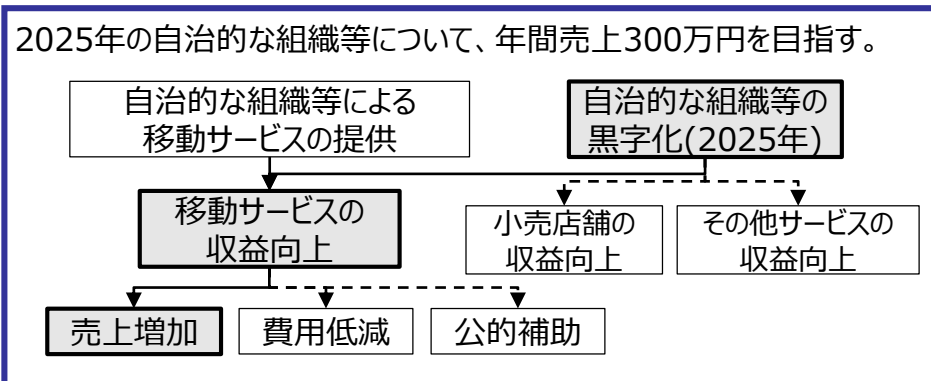
■ 解決方法



■ 運営体制



■ KPI(目標)



以下の取組を行い、支えあい交通の売上増加を目指す。

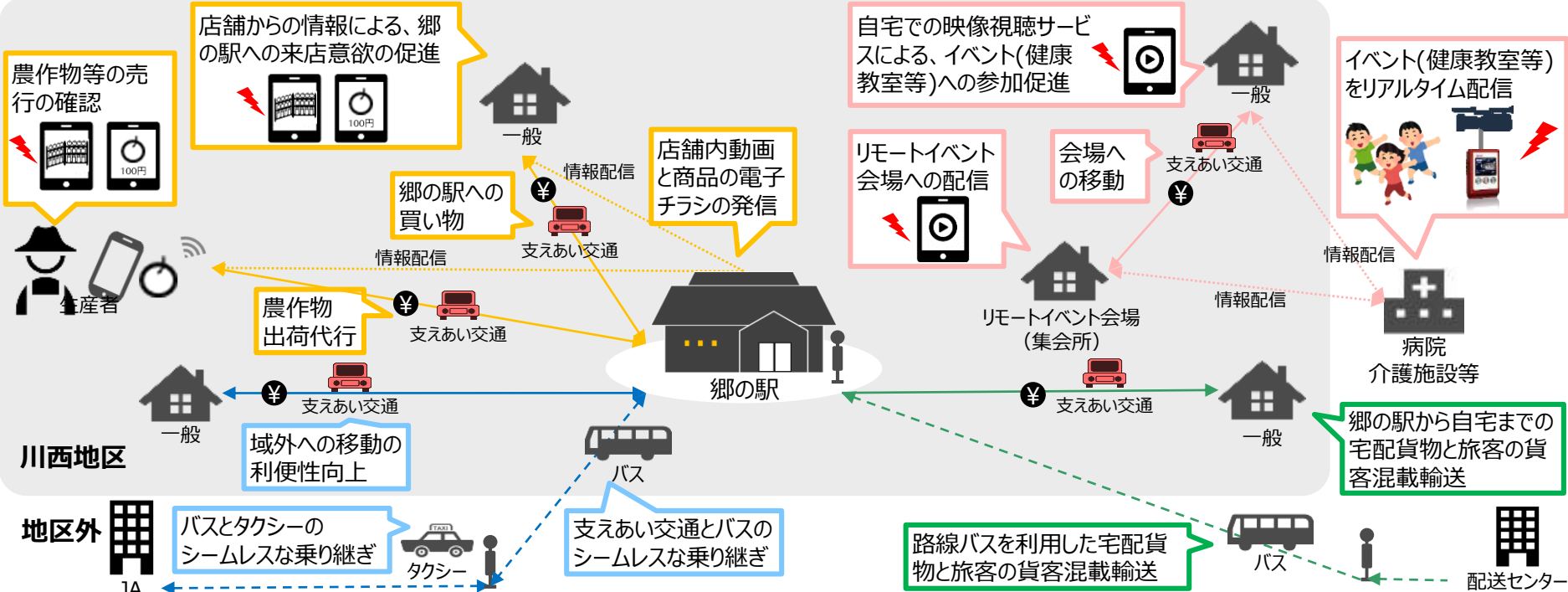
- 産地直売所の商品のカメラ映像を地域情報配信システムから配信し、出荷や購入のための移動を促進する「農業支援」
- 利用しやすいリモートイベントの仕組みを使い、住民のリモートイベント会場までの移動を促進する「地域内交流と交通」
- 支えあい交通のシステムも活用し、他事業者とのサービス連携を行う「シームレスな乗り継ぎ」や「貨客混載輸送」

農業支援

地域の声をもとに、産地直売所のある郷の駅にカメラ等を導入。商品売行き状況の遠隔確認システムを構築。支えあい交通による農作物出荷代行も実施し、売上増加を目指す。

地域内交流と交通

イベント開催を開催により移動目的を創出し支えあい交通の利用を増加させると共に、イベント参加費による売上増加を目指す。



シームレスな乗り継ぎ

地区外のタクシーやバスを運営する交通事業者と連携し、複数事業者間のシームレスな乗り継ぎを実現。支えあい交通の利便性を高め、売上増加を目指す。

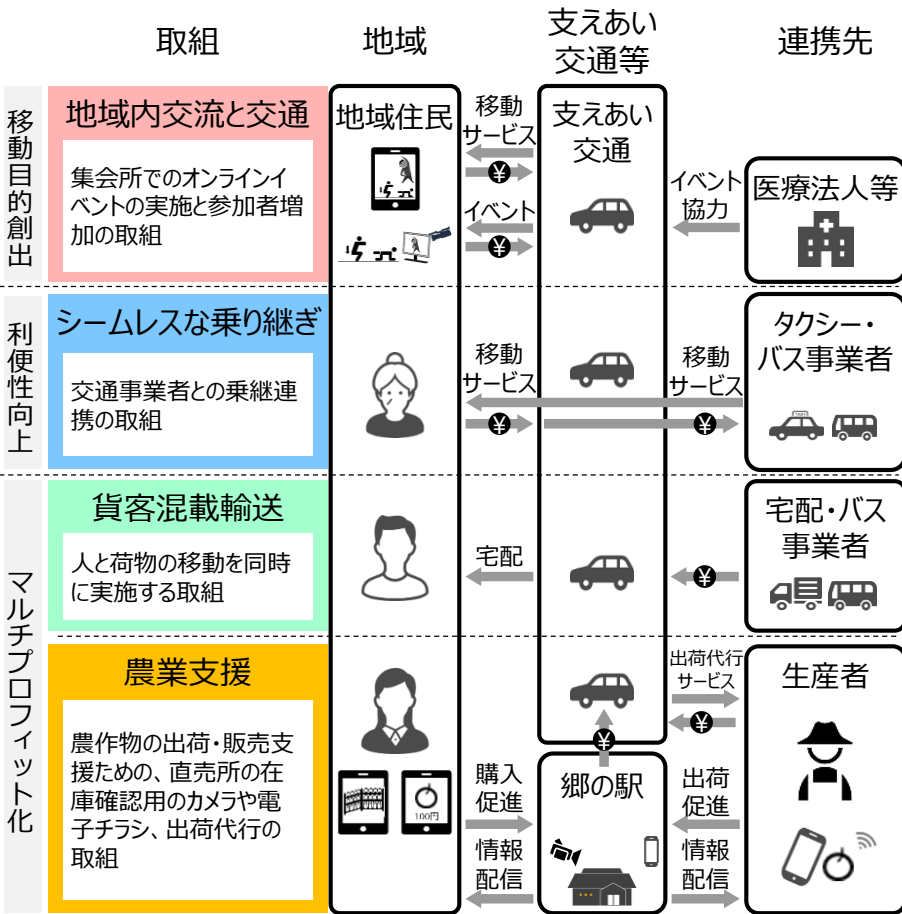
貨客混載輸送

宅配事業者やバス事業者と連携し貨物を輸送。郷の駅までは路線バス、郷の駅からは支えあい交通が配送を請け負う。バス事業者と支えあい交通は、配送負荷軽減された宅配事業者からの売上獲得を目指す。

- ・ 移動目的創出のための「地域内交流と交通」、利便性向上のための「シームレスな乗り継ぎ」及び、マルチプロフィット化のための「貨客混載輸送」と「農業支援」の取組を実施し、支えあい交通の売上増加および運営に関する検証を実施する。
- ・ 各取組の実行性と経済性が確認され、本実証の取組による年間売上の増加は108万円となる検証結果となった。
- ・ 連携先である宅配事業者やタクシー事業者、バス事業者などのメリットも創出できた。

■ 実証実験の内容

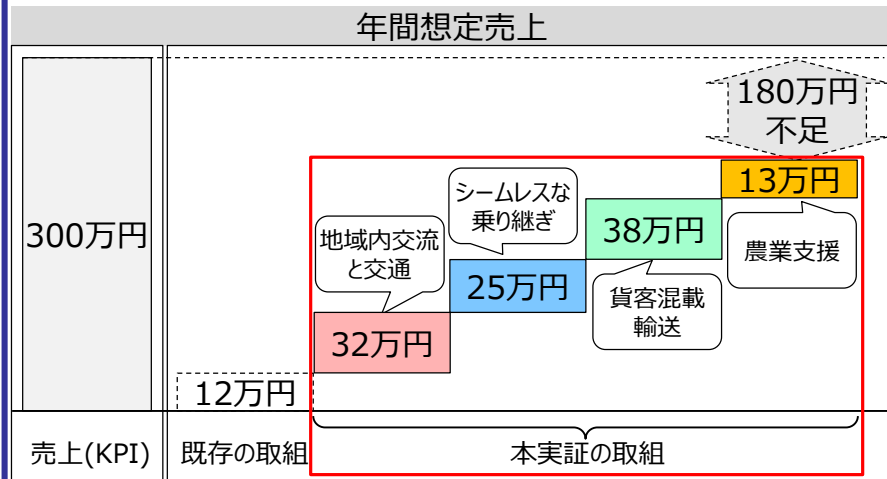
各取組による売上増加と運営の課題を検証する。



■ 実証実験で得られた成果・知見

売上

- ・ 各取組とも、売上を増加させる想定となったが、特に貨客混載輸送の取組の寄与度が高い。
- ・ 本実証の取組による売上108万円、既存の取組による売上12万円と併せて120万円となる検証結果となった。



- ・ 連携した宅配事業者の業務効率化や、バス・タクシー事業者の収益向上など、連携先の事業者へのメリットも確認できた。

運営

- ・ 想定していたサービスの実行性が確認できた。
- ・ 支えあい交通の取組に協力的な支援者が地域内に一定数存在しており、本実証でも地域の方の支援を頂けた。
- ・ 複数取組の同時実施は運営側の業務負荷が大きい。

- 既存の取組の磨き上げによる売上増加や、リーダーなどの担い手人材の確保が、実装するための課題である。
- 地域、自治体、企業のより一層の連携が重要となる。例えば、売上増加の取組として、利用回数向上のための自治体と連携したサービス提供エリアの拡大等や、単価向上のための企業と連携した地域ニーズを捉えた付帯サービスの検討が考えられる。また、人材確保の取組として、自治体と連携した地域おこし協力隊の活用等の地域外の人材の登用も考えられる。

■ 実証実験で得られた課題

売上

既存の取組 • 既存の取組及び本年度の取組だけでは、支えあい交通を経済的に持続可能な形で実装することは難しい。

取組の追加 • サービスの担い手の観点から、これ以上多くの取組を並行して実施することは難しい。

課題 • 担い手の業務負荷も踏まえた、これまで検討した有力な取組の磨き上げ。
• 自治体と連携した解決策の模索。

運営

リーダー • 連携すべき団体や企業と交渉などの取組自体をけん引する担い手(リーダー)が運営に不足している。
• 地域内で情報交流等を実施したが、地域内からは担い手(リーダー)を見つけることが難しかった。

サポーター • ドライバー等の具体的なサービスの担い手は一定数確保できたものの、まだ不足している。

スキル習得 • 荷物の配送等、既存のドライバー業務以外を行うためには、都度スキルの習得が必要である。

課題 • 実装に向けた運営体制構築のために、取組自体をけん引する担い手(リーダー)と、具体的なサービスを実施する担い手(サポーター)の確保と育成。

■ 今後の取組：スケジュール

売上に関する取組

利用回数及び単価向上に向けた取組案を示す。

- | | |
|-----|---|
| 地域 | <ul style="list-style-type: none"> • 口コミ等による認知度向上。 • 地域住民の移動関連のニーズの把握。 |
| 自治体 | <ul style="list-style-type: none"> • サービスエリア拡大の検討支援。 • 補助や支援などの制度の活用支援。 |
| 企業 | <ul style="list-style-type: none"> • 支えあい交通と連携する企業との関係構築支援。 |

運営に関する取組

担い手の確保と育成が求めているが、特に重要なリーダーの確保に関する取組案を示す。

- | | |
|-----|--|
| 地域 | <ul style="list-style-type: none"> • 地域貢献意欲のある方など、リーダー人材の情報収集。 |
| 自治体 | <ul style="list-style-type: none"> • 地域おこし協力隊などの制度の活用した地域外からのリーダー候補の移住促進支援。 |
| 企業 | <ul style="list-style-type: none"> • 運輸関連事業での業務経験や、組織でのリーダーの経験を持つOB、OGへの協力依頼。 |

スケジュール

自治的な組織等の黒字化(公的支援等を含む)に向け、自治体連携、売上増加、費用低減の検討等に取組み、効果を検証する。

